

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する

売上高
700億円営業利益率
8%ROE
8%

② 中長期の経営戦略

1. スペシャリティ領域強化

産婦人科製品の継続開発・販売と女性のQOL向上。甲状腺ホルモン剤を中心とした領域疾患の啓発活動推進

2. 新薬創出の加速

オープンイノベーションの活用とロンドンオフィスとの連携によるグローバルアライアンス活動

3. 海外事業展開

アジア中心に提携先との協力関係を進展。ベトナムのハタファース社を2025年2月に連結子会社化

4. トータルヘルスケア実現

検査事業の低侵襲検査法確立と毛髪ホルモン量測定キット展開。アニマルヘルス事業の強化

③ 対処すべき課題

① 医薬品開発パイプライン拡充

- ・ AKP-022、LPRI-CF113、AKP-009のステージアップ進行
- ・ LF111は2025年5月19日承認取得、国内初プロゲステロン単剤経口避妊剤として発売準備中
- ・ イオンチャネル創薬基盤技術導入による創薬研究活動の強化

② 既存製品のプレゼンス維持・拡大

- ・ レルミナ・ドロエチ等の既成業績貢献製品と新薬のバランス戦略
- ・ 甲状腺ホルモン剤チラーヂンは国内シェア9割超、安定供給と啓発活動継続
- ・ スペシャリティエリア制で質高い情報提供とウェビナー活用

③ グループ全体の成長基盤構築

- ・ ホールディングス体制での機動的意思決定とガバナンス強化
- ・ あすかイノベーションファンド活用による女性健康課題解決スタートアップとの協業
- ・ 検査事業とアニマルヘルス事業の拡大による多角化推進

面で使えるポイント

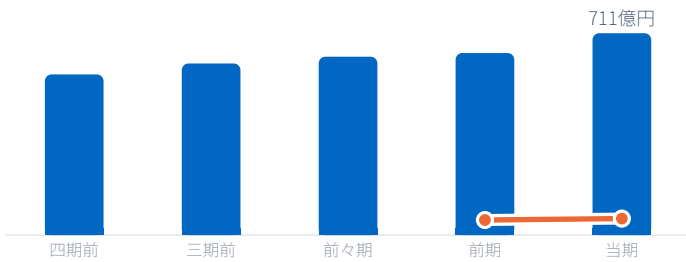
- ・ 産婦人科をコア領域とするスペシャリティファーマで、国内シェア9割超のチラーヂン等確固たる基盤を保有
- ・ 東南アジアベトナムのハタファース社連結子会社化など、グローバル展開による成長戦略を推進中
- ・ 毛髪ホルモン量測定キットなど、トータルヘルスケアカンパニー実現に向けた新規事業創出と多角化に注力

あすか製薬ホールディングス株式会社

医薬品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月末日 | 連結…

証券コード 4886

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
711億円

営業利益率
8.2%

財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 62.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,021万円
医薬品内 17位/80社

平均年齢
46.0歳
医薬品内 29位/80社

平均勤続
17.0年
医薬品内 13位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

2021年4月に単独株式移転によって設立された持株会社

主力事業・セグメント

- ・医薬品 83.1%
- ・Animalヘルス 10.3%
- ・Oversea 6.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率8.2%の安定した収益性
- ・平均勤続17.0年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: あすか製薬ホールディングス[4886]：役員および執行役員の

あすか製薬ホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

